

普及活動情勢報告（令和8年4月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

春先以降の管理について学ぼう ～黒潮町促成キュウリ現地検討会～



資料の説明を聞く生産者

3月18日、黒潮町浮鞭のキュウリ生産者ほ場2か所で、キュウリ若手現地検討会を開催し、生産者11名、関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、2～3月までの気象、高収量農家の耕種概要・栽培状況、今後の管理方法について説明しました。

生産者からは、「炭酸ガスの濃度はどの程度にしているか」「高収量農家のハウスは自分のハウスよりも湿度が高い」などの質問や感想がありました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会を開催し、黒潮町促成キュウリ生産者の栽培技術向上に向けて支援していきます。

データ駆動型農業を推進していきます ～すくも文旦育成会～



環境測定装置の設置状況を確認する生産者

3月19日、宿毛市宇須々木の土佐文旦生産者ほ場で、生産者2名が、環境測定装置を設置しました。

農業改良普及課は、環境測定装置設置に向けてメーカーと生産者の日程調整や設置場所の協議、測定データの確認方法を指導しました。

生産者からは、「園地の中で生育が悪いところがあるのでデータを見て助言してほしい」「土壌水分率を見ながら、今後、栽培改善に活かしていきたい」などの意見がありました。

農業改良普及課は、今後も環境測定装置のデータを活用し、土佐文旦の栽培を支援していきます。

加工原料の安定生産に向けて ～四万十市西土佐地区葉ワサビ現地検討会～



現地で生育状況を確認する生産者

3月25日、四万十市西土佐の葉ワサビ生産者ほ場2か所で、加工用葉ワサビの現地巡回を行い、生産者2名、実需者1名、関係機関4名が参加しました。

農業改良普及課からは、病虫害防除やかん水方法、今後の気象について説明し、生産者と共に出荷時期の確認をしました。

生産者からは、「防除は収穫の何日前までして良いか」との質問や、「水不足で十分なかん水ができない」「寒暖差が大きく管理が難しい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、葉ワサビの安定生産に向けて支援していきます。

大岐の農地を守ろう！

～大岐集落営農組合・大岐ドローン設立総会～



役員及び関係者

3月26日、土佐清水市大岐福祉センターで、大岐集落営農組合並びに大岐ドローンの設立総会が開催され、組合員7名、関係機関5名が参加しました。

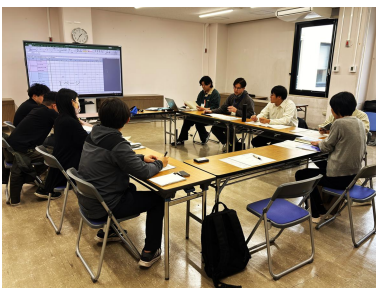
農業改良普及課は、組織の体制づくりや運営の仕組みづくり等設立に向けて支援しました。

総会では、代表から「集落内の農家が一体となって取り組んでいきたい」と抱負が述べられ、組織として活動していくことが承認されました。

農業改良普及課は、今後も大岐地区の農地を維持していくため、組織の活動を支援していきます。

清水の園芸を盛り上げよう！

～土佐清水市園芸農家担い手対策チーム会～



話し合う関係者

4月15日、土佐清水市役所で、土佐清水市園芸農家担い手対策チーム会を開催し、市やJAの関係者10名が参加しました。

当チームは令和5年度に発足し、市内の施設園芸農家の担い手や後継者の確保・育成に向けて活動しています。

今回のチーム会では、就農希望者やアルバイト人材の確保、農福連携による労働力の確保に向けた今年度の活動計画について話し合い、それぞれの役割を確認しました。

農業改良普及課は、今後、この計画に基づき、土佐清水市の施設園芸を支える人材の確保に向けて、取り組みを進めていきます。

若い力で地域農業を支えよう

～JA青壮年部中村支部通常総会～



意見交換する参加者

4月15日、JA幡多地区本部で、JA青壮年部中村支部通常総会が開催され、部会員10名、関係機関10名が参加しました。

農業改良普及課からは、農福連携の取組や園芸作物高温対策機器導入等支援事業について紹介しました。

参加した生産者からは、市の農政の取組や県・市が関わる事業に対する質問と意見が出る等、活発な意見交換がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、若手生産者を支援するとともに地域農業の振興を支援していきます。